

## 第1回北関東・磐越地域分科会／議事要旨

日 時：平成20年10月24日（金） 11：00～12：00  
場 所：グランドプリンスホテル赤坂 旧館2F「サファイアホール」

### ◇議事要旨

- (1) 首都圏広域地方計画区域・首都圏広域地方計画協議会構成員について
  - (2) 首都圏広域地方計画策定に関連したスケジュールについて
  - (3) 北関東・磐越地域の自立的発展に向けた広域連携の取組みについて
- 上記について、事務局より資料説明を行った。

### 討議内容：

- (新潟県) ■ 帯状の5県がインフラ整備やソフト面で協力して進めることは非常に意義がある。
- 新潟県は関越・磐越・上信越という3本の高速道路により首都圏と連絡しており、これら既存のインフラを活用しながらアジアとの交流を進めることが重要。
- 大規模震災対策が戦略プロジェクトとして挙げられているが、新潟県としてはこれまでのご支援に対して、災害時に蓄積したノウハウを用いて恩返ししていきたい。
- (栃木県) ■ 平成23年度の北関東自動車道の開通によって、5県のループ上のネットワークが完成する。これを最大限に活かして、物流のみならず、産業、医療、観光などでも連携を深めていきたい。
- 霞ヶ浦導水事業については、今後の国交省と全内漁連の調整に期待したい。
- (福島県) ■ 企業立地の観点からは、広域連携という観点が重要であり、デンソーの本県への立地は、磐越自動車道・北関東自動車道等のループ状のネットワークを活用して自動車部品を北関東や東北へ輸送できることが決め手になった。
- 栃木・福島間を結ぶ国道289号のトンネルが開通し1ヶ月になるが、明らかに人とモノの流れが変わってきている。この変化を、今後の広域連携の取組みにどのように展開させていくのか、検討して本計画にも反映して頂きたい。
- (群馬県) ■ 北関東自動車道全線開通を早急に実現して欲しい。
- 群馬県は畜産業が盛んであり、エネルギーの地産地消の取組みとして、バイオマス技術やマイクロ水力技術発電に取り組んでいる。このような地域資源を環境教育やまちづくりのイメージアップに活用していきたいと考えており、計画の今後の検討課題としていただきたい。
- (茨城県) ■ 地球環境問題の関連で農水省が森林間伐等の問題に取り組んでいるが、経済性の確保のためには、県同士が協力していかなければならない。
- 東アジアとのつながりは重要であり、常陸那珂港・日立港・大洗港を一つの港として一体的に運用し、その利便性をPRしていきたい。
- 北関東自動車道にしても、地元の人はその利便性を分かっているが、東京の人は必ずしも認知している訳ではないので、今後とも連携してPRに力を入れていきたい。

(以上)